

医学研究センター

医学研究センター

片桐 岳信
(センター長)

1. 構成員

◇センター長

片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : センター長 (任期: R5.7.31)

◇部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 研究主任部門 (任期: R5.3.31)

坂本 安 (SAKAMOTO, Yasushi) : 共同利用施設運営部門 (任期: R5.3.31)

小谷 典弘 (KOTANI, Norihiro) : 研究支援管理部門 (任期: R5.3.31)

三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (任期: R5.3.31)

※片桐 岳信 (KATAGIRI, Takenobu) : フェローシップ部門 (任期: R5.3.31)

椎橋実智男 (SHIIBASHI, Michio) : 研究評価部門 (任期: R5.3.31)

◇副部門長 (医学研究センター運営会議規則第3条2号構成員)

百瀬 修二 (MOMOSE, Shuji) : 研究主任部門 (任期: R5.3.31)

下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R5.3.31)

佐藤 毅 (SATO, Tsuyoshi) : 研究主任部門 (任期: R5.3.31)

※佐藤 毅 (SATO, Tsuyoshi) : 共同利用施設運営部門 (任期: R5.3.31)

堀内 大 (HORIUCHI, Yutaka) (任期: R5.3.31)

※三谷幸之介 (MITANI, Kohnosuke) : 安全管理部門 (DNA 分野) (任期: R5.3.31)

村上 孝 (MURAKAMI, Takashi) : 安全管理部門 (感染分野) (任期: R5.3.31)

奥田 晶彦 (OKUDA, Akihiko) : 安全管理部門 (薬物・廃液等環境分野) (任期: R5.3.31)

森 隆 (MORI, Takashi) : 安全管理部門 (動物分野) (任期: R5.3.31)

西本 正純 (NISHIMOTO, Masazumi) : 安全管理部門 (RI 分野) (任期: R5.3.31)

高田 綾 (TAKADA, Aya) : フェローシップ部門 (任期: R5.3.31)

三輪 尚史 (MIWA, Naofumi) : フェローシップ部門 (任期: R5.3.31)

徳元 康人 (TOKUMOTO, Yasuto) : 研究評価部門 (任期: R5.3.31)

◇ランチ長 (医学研究センター運営会議規則第3条3号構成員)

※坂本 安 (SAKAMOTO, Yasushi) : 毛呂山キャンパス担当 (任期: R5.3.31)

山本 晃士 (YAMAMOTO, Koji) : 総合医療センター担当 (任期: R5.3.31)

※海老原康博 (EBIHARA, Yasuhiro) : 日高キャンパス担当 (任期: R5.3.31)

※下岡 聡行 (SHIMOOKA, Toshiyuki) : 研究主任部門 (任期: R5.3.31)

※は重複構成員…計18名

◇オブザーバー

松下 祥 (MATSUSHITA, Sho) : 副学長

千本松孝明 (SENBONMATSU, Takaaki) : リサーチアドミニストレーションセンター 教授

菅原 哲雄 (SUGAHARA, Tetsuo) : リサーチアドミニストレーションセンター 講師

町田 早苗 (MACHIDA, Sanae) : 医学研究センター 講師

別所 和博 (BESSHO, Kazuhiro) : 医学研究センター 助教

福田枝里子 (FUKUDA, Eriko) : 医学研究センター 助手

◇事務局

下田 裕子 (SHIMODA, Yuko) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課 課長

佐國 真紀 (SAKUNI, Maki) : 大学事務部 医学部事務室 庶務課

2. 目的・目標

医学研究センターは、学校法人埼玉医科大学医学研究センター規定第2条に則り、本学の医学研究を円滑かつ効果的に行い、教育研究上の目的を達成するための基盤整備を図るとともに、当該研究活動に必要な企画立案、管理運営その他の研究支援を統括・推進し、もって本学の研究活動の質的向上、および研究成果の社会への還元に資することを目的とする。

今年度も、本学の研究活動の向上を目指して、全学的なソフト面とハード面での支援を充実させる。また、リサーチアドミニストレーションセンターと協力し、公的競争的研究資金として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援も充実させる。

医学研究センターの目的を達成するために、以下に示す6つの部門で構成され、各部門が異なる視点から本学の研究を支援する。

- 1) 研究主任部門：基本学科と医学研究センターの情報共有に関わる。
- 2) 共同利用施設運営部門：各種共同利用施設の運営に関わる。
- 3) 研究支援管理部門：外部資金獲得の支援や学内グラントに関わる。
- 4) 安全管理部門：RI, DNA, 薬物, 環境, 動物, 感染など、研究活動における安全管理に関わる。
- 5) フェローシップ部門：大学院生以上助手未満への経済的支援に関わる。
- 6) 研究評価部門：研究活動の内部評価や外部評価に関わる。

各部門内で会議を適宜開催し、毎月1回、全キャンパス両学部から選出された構成員からなる運営会議を開催して医学研究センター全体の活動を共有している。運営会議の内容は教員代表者会議と保健医療学部教授会で報告され、本学全体に共有される。

3. 活動実績

令和4年度は、各部門において以下のような活動を行った（それぞれの詳細は、各部門の活動報告を参照）。

- 1) 研究主任部門：第24回学内グラント成果発表会を令和4年7月15日に開催し、第25回学内グラント成果発表会を令和5年3月24日に開催した。
- 2) 共同利用施設運営部門：共同利用実験室を整備し、令和4年度の利用者登録を管理した。研究機器・備品の整備を行った。中央研究施設運営会議、毛呂山キャンパス動物実験小委員会、を開催した。
- 3) 研究支援管理部門：論文剽窃検知ソフト iThenticate の運用・管理を担当した。グラント選考委員会、および庶務課と協力し、令和4年度学内グラント選考委員会を開催した。リサーチアドミニストレーションセンターと共に、科研費アドバイザー制度を始めとする科研費申請支援を行った。
- 4) 安全管理部門：部門内の5分野でそれぞれ活動を行った。DNA分野では、組換えDNA使用実験に関する審査・承認を行うとともに、講習会を実施した。感染分野は、病原性微生物の保有状況の確認、BSL2、BSL3の保有状況の確認を行い、文部科学省へ報告した。病原体等取扱申請書を審議し、BSL2とBSL3実験施設の査察を行った。薬物・廃液等環境分野では、令和4年度研究用麻薬・向精神薬に関する調査・報告を行うと共に、実験廃液と廃棄物を専門業者に依頼し処分した。動物分野では、各動物実験施設を管理・運営するとともに、各キャンパスの動物実験小委員会と本学動物実験委員会において、動物実験計画書の審査・承認を行った。RI分野では、令和4年度の新規RI取扱希望者を対象とした教育訓練を実施した。
- 5) フェローシップ部門：2023年度埼玉医科大学私費外国人留学生等奨学金を募集・選考し、その結果を上程した。
- 6) 研究評価部門：研究業績データベースシステムを管理・運用し、学内の各部署への情報提供、新世代研究基盤リサーチマップ（researchmap）とのデータ交換を行った。令和5年5月現在、本システムには医学部と保健医療学部をあわせて1,460名の研究者が登録されている。

4. 自己評価と次年度計画

4-1. 前年度の改善計画に対する今年度の点検・評価結果

令和4年度も、前年の計画通り、本学の研究活動の向上と研究成果の社会への還元を目指して、全学的なソフト面とハード面での研究支援を実施できた。研究支援管理部門が中心となり、リサーチアドミニストレーションセンターと共同で実施した「科研費アドバイザー制度」により、本学の科研費（文部科学省、日本学術振興会）の新規採択率は過去最高であった昨年度をさらに上回った。

4-2. 今年度の自己点検・評価結果に基づく改善計画

来年度も、COVID-19の影響が不透明であるため、各部門で連携しながら適切な対応を検討する。本学の研究活動を促進するために、競争的公的研究費として科研費（文部科学省、日本学術振興会）の申請支援をさらに充実させると共に、学内グラント「一般」枠を「科研費申請支援」枠に改称し、本グラントの目的を明確にする。さらに「科研費申請支援」を充実させるために、科研費アドバイザーによる採点を選考に利用することを計画する。